クロス教育に関する取扱要項

（令和６年２月１６日副学長（教育・学生支援担当）決裁）
（令和７年３月３１日最終改正）

（趣旨）

第１条　この要項は，クロス教育に関する規則（令和５年島大規則第１２９号。以下「規則」という。）第３条第２項，第４条第２項及び第５条第２項の規定に基づき，島根大学クロス教育（以下「クロス教育」という。）において開設するプログラム，履修手続及び履修証明書交付要件に関し，必要な事項を定める。

（適用対象）

第１条の２　この要項は，令和６年度以降の入学生及び当該入学生と同学年に編入学，転入学又は再入学する者に適用する。

（開設プログラム）

第２条　規則第３条第１項各号に規定するプログラム（以下「区分」という。）において開設するプログラム（以下「プログラム」という。），履修資格，履修手続及び履修証明書交付要件は，次の各号に掲げるとおりとする。

一　テーマ別プログラム　別表１のとおり

二　他学部学問基礎プログラム　別表２のとおり

三　同学部異領域専門プログラム　各学部において定める。

四　アドバンストプログラム　別表３のとおり

五　トランスボーダープログラム　別表４のとおり

（履修手続）

第３条　前条に規定するプログラム（以下「各プログラム」という。）を履修しようとする者（以下「履修希望者」という。）は，指定する履修手続期間内に所定の手続きを行わなければならない。

（既修得単位の取扱い）

第４条　履修希望者が，各プログラム履修登録以前に，当該プログラムを構成する授業科目の単位を修得している場合には，規則第６条第１項第２号における修了要件において，すでに修得した単位数を含めることができる。

（企画・実施）

第５条　各プログラムの企画・実施は，クロス教育専門委員会（クロス教育専門委員会要項に定める各専門委員会をいう。）において行う。

（事務）

第６条　クロス教育に関する事務は，関係各課の協力を得て，教育・学生支援部教育企画課において処理する。

（雑則）
第７条　この要項に定めるもののほか，クロス教育の実施に関し，必要な事項は別に定める。

附　則
この要項は，令和６年４月１日から実施し，令和６年度入学生より適用する。
附　則（令和６年９月２５日一部改正）
この要項は，令和６年１０月１日から実施する。
附　則（令和７年３月１２日一部改正）
この要項は，令和７年４月１日から実施する。
附　則（令和７年３月３１日一部改正）
この要項は，令和７年４月１日から実施する。ただし，この要項による改正後のこの要項別表１（８．観光教育プログラム）の履修表のうち，「異文化理解入門Ａ」に関する規定は令和６年４月１日から適用する。

別表1

1．英語実践力養成プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

本プログラムは，将来海外留学や大学院進学，就職等に実践的な英語力を必要とする学生を対象にし，グローバル社会で活躍するために必要な自信、英語スキル、国際人としての資質、異文化理解を養うことを目的とする。

（2）プログラムの学修到達目標

① TOEIC550点以上相当の英語力を保持している。
② 国際人として必要な英語圏の異文化に対する理解力や知識を十分有している。

（3）履修資格

一 令和6年度以降に入学した者
二 上記一号の規定にかかわらず，英語を母語とする学部留学生については，本プログラムを履修することができない。

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請

（5）修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科等の卒業要件を満たすこと。
二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。
二 本プログラムの対象科目を6単位修得済み，又は履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	英語リーディング(発展)	2		10
		英語ライティング(応用)	2		
		英語ライティング(発展)	2		
		リアルワールド・リスニング&スピーキング	2		
		実践英会話(基礎)	2		
		実践英会話(応用)	2		
		実践英会話(発展)	2		
		英語ビジネスコミュニケーションA	2		
		英語ビジネスコミュニケーションB	2		
		グローバル・キャリアA	2		
		グローバル・キャリアB	2		
		国際文化情報A(英語圏)	2		
		国際文化情報B(英語圏)	2		
		国際文化情報C(英語圏)	2		
		国際文化情報D(英語圏)	2		
		異文化コミュニケーションA	2		
		異文化コミュニケーションB	2		
		英語海外研修A	2		
		英語海外研修B	2		
		英語海外研修F(セントラルワシントン大学)	2		
		インディビジュアル海外研修	2		
		グローバル・アクティビティーA	2		
		グローバル・アクティビティーB	2		
		グローバル・アクティビティーC	2		
		グローバル・アクティビティーD	2		
		TOEFL スコアアップセミナー	2		
		TOEIC スコアアップセミナーA	2		
		TOEIC スコアアップセミナーB	2		
合　計				10	

※本プログラムとグローバル・コミュニケーションプログラムの両方を履修した場合，共通する授業科目については，どちらか一方のプログラムの単位を修得したとみなす。

別表1

2. グローバル・コミュニケーションプログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

本プログラムは、将来グローバル・コミュニケーション能力を必要とする学生を対象とし、グローバル社会で機敏に活動ができるように、グローバル・コミュニケーションスキルを向上させるとともに、自己をより良く認識し、異なる文化的背景を持つ他者を十分理解できるグローバル・マインドセットを養うことを目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

① TOEIC700点以上相当の英語力を保持している。

② グローバル・イシューを理解し，グローバルな視点からそれらを批判思考的に考察できるグローバル・マインドセットを有している。

(3)履修資格

一　令和6年度以降に入学した者

二　上記の規定にかかわらず，英語を母語とする学部留学生については，本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　本プログラムの対象科目を6単位取得済み，または，履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	グローバル・リーダーシップ	2		10
		グローバル・リテラシーセミナーA	2		
		グローバル・リテラシーセミナーB	2		
		グローバル・アンダースタンディングA	2		
		グローバル・アンダースタンディングB	2		
		グローバル・インタラクションA	2		
		グローバル・インタラクションB	2		
		グローバル・パースペクティブA	2		
		グローバル・パースペクティブB	2		
		グローバル・テーマセミナーA	2		
		グローバル・テーマセミナーB	2		
		グローバル・テーマセミナーC	2		
		グローバル・テーマセミナーD	2		
		国際文化情報A(英語圏)	2		
		国際文化情報B(英語圏)	2		
		国際文化情報C(英語圏)	2		
		国際文化情報D(英語圏)	2		
		文化比較セミナーA	2		
		文化比較セミナーB	2		
		インターカルチュラル・アンダースタンディングA	2		
		インターカルチュラル・アンダースタンディングB	2		
		キャリア&アイデンティティ	2		
		カルチュラル・アイデンティティ	2		
		グローバル・キャリアA	2		
		グローバル・キャリアB	2		
		英語海外研修A	2		
		英語海外研修B	2		
		英語海外研修F(セントラルワシントン大学)	2		
		インディビジュアル海外研修	2		
		グローバル・アクティビティーA	2		
		グローバル・アクティビティーB	2		
		グローバル・アクティビティーC	2		
		グローバル・アクティビティーD	2		
		TOEFL スコアアップセミナー	2		
		TOEIC スコアアップセミナーA	2		
		TOEIC スコアアップセミナーB	2		
合　計				10	

※本プログラムと英語実践力養成プログラムの両方を履修した場合，共通する授業科目については，どちらか一方のプログラムの単位を修得したとみなす。

別表1

3. ヨーロッパ言語文化実践力養成プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

本プログラムは，将来，ドイツ語圏やフランス語圏への留学や大学院進学，就職などにドイツ語やフランス語を必要とする学生を対象とし，実践的なドイツ語・フランス語コミュニケーション能力を養成するとともに，それぞれの文化や社会について深い理解と知識を備えた人材育成を目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

① ドイツ語技能検定試験3級以上，又は実用フランス語技能検定試験3級以上の語学力を保持している。

② 国際人として必要なヨーロッパ言語文化に対する理解力や知識を十分有している。

(3)履修資格

一 令和6年度以降に入学した者

二 ドイツ語Ⅰ，又はフランス語Ⅰ（計2単位）を修得した者。又はドイツ語技能検定試験4級以上、実用フランス語技能検定試験4級以上のいずれかを取得している者。

三 上記一号，二号の規定にかかわらず，ドイツ語，又はフランス語を母語とする学部留学生については，本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請

二 ドイツ語Ⅰ，またはフランス語Ⅰを修得していない者は，本プログラムの履修資格を証明するドイツ語、又はフランス語能力試験の成績等の書類及び修得時期が確認できる書類を添付すること。

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。

二 本プログラムの対象科目を6単位修得済み，又は履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	実践ドイツ語(会話)A	2		10
		実践ドイツ語(会話)B	2		
		実践ドイツ語(読解・ライティング)A	2		
		実践ドイツ語(読解・ライティング)B	2		
		実践フランス語(会話)A	2		
		実践フランス語(会話)B	2		
		実践フランス語(読解・ライティング)A	2		
		実践フランス語(読解・ライティング)B	2		
		ドイツ語検定セミナーA	2		
		ドイツ語検定セミナーB	2		
		フランス語検定セミナーA	2		
		フランス語検定セミナーB	2		
		国際文化情報A(ドイツ語圏)	2		
		国際文化情報B(ドイツ語圏)	2		
		国際文化情報C(ドイツ語圏)	2		
		国際文化情報D(ドイツ語圏)	2		
		国際文化情報A(フランス語圏)	2		
		国際文化情報B(フランス語圏)	2		
		国際文化情報C(フランス語圏)	2		
		国際文化情報D(フランス語圏)	2		
		フランスの社会と文化	2		
		ヨーロッパの言語文化I	2		
		ヨーロッパの言語文化II	2		
		フランス短期海外研修	2		
専門教育科目	全学開放科目	異文化交流IV	2		
		ドイツ言語文化概論	2		
合　計				10	

別表1

4. 中国語実践力養成プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

本プログラムは，将来，中国語への留学や大学院進学，就職などに中国語を必要とする学生を対象とし，実践的な中国語コミュニケーション能力を養成するとともに，それぞれの文化や社会について深い理解と知識を備えた人材育成を目的とする。

（2）プログラムの学修到達目標

① 中国語能力検定試験3級以上，又はHSK筆記5級以上の語学力を保持している。

② 国際人として必要な中国語圏の異文化に対する理解力や知識を十分有している。

（3）履修資格

一 令和6年度以降に入学した者

二 中国語Ⅰ（計2単位）を修得した者。又は，中国語検定試験4級以上，あるいはHSK（筆記）4級以上を取得している者。

三 上記一号及び二号の規定にかかわらず，中国語を母語とする留学生については，本プログラムを履修することができない。

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請

二 中国語Ⅰを修得していない者は，本プログラムの履修資格を証明する中国語能力試験の成績等の書類及び修得時期が確認できる書類を添付すること。

（5）修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。

二 本プログラムの対象科目を6単位修得済み，又は履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	現代中国語セミナーA	2		10
		現代中国語セミナーB	2		
		中国語スキルアップセミナーA	2		
		中国語スキルアップセミナーB	2		
		中国語会話(応用)	2		
		中国語表現法(応用)	2		
		中国語検定セミナーA	2		
		中国語検定セミナーB	2		
		コミュニケーション中国語A	2		
		コミュニケーション中国語B	2		
		国際文化情報A(中国語圏)	2		
		国際文化情報B(中国語圏)	2		
		中国言語文化論	2		
		中国語音声セミナー	2		
		中国留学セミナー	2		
		国際連携中国語セミナーA	2		
		国際連携中国語セミナーB	2		
		中国語海外研修 A(北京大学)	2		
		中国語海外研修 B(香港大学等)	2		
		中国語海外研修 C(北京語言大学)	2		
		中国語圏の歴史と文化	2		
合　計				10	

別表1

5. 韓国・朝鮮語実践力養成プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

本プログラムは，将来，韓国・朝鮮語圏への留学や大学院進学，就職などに韓国・朝鮮語を必要とする学生を対象とし，実践的な韓国・朝鮮語コミュニケーション能力を養成するとともに，それぞれの文化や社会について深い理解と知識を備えた人材育成を目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

① ハングル能力検定試験3級以上，又は韓国語能力試験(TOPIK)2級以上の語学力を保持している。

② 国際人として必要な韓国・朝鮮語圏の異文化に対する理解力や知識を十分有している。

(3)履修資格

一 令和6年度以降に入学した者

二 韓国・朝鮮語Ⅰ（計2単位）を修得した者。又はハングル能力試験4級以上、韓国語能力試験(TOPIK)1級以上を取得している者。

三 上記一号，二号の規定にかかわらず，韓国・朝鮮語を母語とする学部留学生については，本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請

二 韓国・朝鮮語Ⅰを修得していない者は，本プログラムの履修資格を証明する韓国・朝鮮語能力試験の成績等の書類及び修得時期が確認できる書類を添付すること。

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二 本プログラムの対象科目を10単位以上修得しているものであること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。

二 本プログラムの対象科目を6単位修得済み，又は履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	実践韓国・朝鮮語(会話)A	2		10
		実践韓国・朝鮮語(会話)B	2		
		実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)A	2		
		実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)B	2		
		韓国・朝鮮語検定セミナーA	2		
		韓国・朝鮮語検定セミナーB	2		
		国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)	2		
		国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	2		
		韓国の社会と文化A	2		
		韓国の社会と文化B	2		
		韓国の文化と風土	2		
合　計				10	

別表1

6. ジオパーク学プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

ジオパークとは「地質及び地形，生態系，歴史，文化，景観，人々の暮らしや産業など地質に密接に関連する領域を切り口として整備される“地球と人間のかかわり”を主題とする市民のための自然公園」のことを意味します。本プログラムでは，多様で個性豊かな地域遺産について基礎的な知識を理解し，さらにジオパークを生かして地域活性化を模索・支援することができる学際的な人材を育成することを目的としたプログラムです。

(2)プログラムの学修到達目標

① ジオパークの取り組みについて，具体的な事例を挙げて説明することができる。
② ジオパークについて調査・分析することができる。
③ ジオパーク活動を実践・発表することができる。
④ ジオパーク活動の場に自らの役割を持って，主体的に参画することができる。
⑤ ジオパークについて他者と議論し，合意を形成することができる。

(3)履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請
二 その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二 上記履修表により履修し，コア科目（必修）6単位，選択科目（選択）4単位以上の合計10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。
二 本プログラムのコア科目を6単位修得済み，または履修中であること。
三 本プログラムの選択科目を4単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	地域創生科目群	ジオパーク学入門	2	2	
		ジオパーク学各論	2	2	
		ジオパーク学演習	2	2	
		古代出雲の考古学	2		4
		山陰の歴史-古代・中世-	2		
		山陰の歴史-近世・近現代-	2		
		山陰の自然史	2		
		汽水域の科学(入門編)	2		
		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
		地域博物館へのいざない	2		
合　計				10	

※「ジオパーク学各論」は,「ジオパーク学入門」の単位を修得した者でなければ履修することができない。

※「ジオパーク学演習」は,「ジオパーク学入門」及び「ジオパーク学各論」の単位を修得した者でなければ履修することができない。また,定員の上限(50名)を設ける。

別表1

7. ものづくり産業人材育成プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

本プログラムは，材料やものづくりに関連する科目，及びビジネス論や技術者倫理に関連する科目の学習を通して，実社会の場，特に島根県の主要産業の一つである金属関連分野などのものづくり産業で活躍することができる起業家精神を持ったものづくり人材を育成することを目指す。

（2）プログラムの学修到達目標

① 社会と技術の関わりについて理解し，説明することができる。
② ものづくり産業に必要な基礎知識を理解，説明することができる。
③ 起業の基本について理解し，説明することができる。

（3）履修資格

令和6年度以降に入学した者

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請
二 その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二 （7）に示す履修表により履修し，計10単位以上を修得すること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。
二 （7）に示す履修表の選択科目を10単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	島大STEAM科目群	電気・通信技術の歩み	2		10
		半導体の世界	2		
		実例ビジネス開発論	2		
	地域創生科目群	たたらと現代製鋼	2		
	教養育成科目群	物理学の世界	2		
		クロス教育基礎論	2		
全学開放科目		知的財産権法	2		
		技術と社会	2		
		材料科学序論	2		
		材料科学から社会を見る	2		
合　計				10	

※令和6年度に入学した者で，「エレクトロニクスのはなし」を修得した者は，修了要件単位数に含めることができる。

別表1

8. 観光教育プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

本プログラムでは，観光とは何かを多様な視点から理解するとともに，体験的な学習を通じて観光に関する実践知を獲得することを目指す。また，受講者自身の専門が観光にどのように関わることができるのかを展望し，観光に意欲的に取り組むことができるようになることを目指す。

（2）プログラムの学修到達目標

① 地域の観光の取り組みについて，具体的な事例を挙げて説明することが
② 観光に関する諸現象について、受講者自身の専門分野の知識を用いて調査・分析することができる。
③ 観光にする諸現象について、受講者自身の専門分野の関わりを発表することができる。
④ 観光の場に自らの役割を持って、意欲的に参画することができるようになる。

（3）履修資格

令和6年度以降に入学した者

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければな

一　本プログラムの履修申請
二　その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二　（7）の履修表により履修し，コア科目（必修）6単位，選択科目（選択）4単位以上の合計10単位以上を修得すること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。
二　本プログラムのコア科目を6単位修得済み，または履修中であること。
三　本プログラムの選択科目を2単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目，履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和6年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	教養育成科目群	コア科目	観光概論	2	2	
	地域創生科目群		観光地域経営論	2	2	
			観光演習	2	2	
			観光実践	2		
	島大STEAM科目群	選択科目	アントレプレナーシップ入門セミナー	2		4
			実例ビジネス開発論-社会構造の変化に対応する新しい価値の共創-	2		
	ユニバーサル科目群		異文化理解入門A	2		
			グローカル課題解決型研修（タイ：観光開発の現状と課題）	2		
	地域創生科目群		島根学	2		
			地域博物館へのいざない	2		
			ジオパーク学入門	2		
			フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
合　計					10	

※「観光演習」「観光実践」は，必修科目4単位を修得済みかつ選択科目2単位を修得済みまたは履修中の者でなければ履修することができない。

別表1

9. フィールド教育プログラム　～森林から耕地，海へ～　（10単位）

(1)プログラムの目的

本プログラムは，私達の生活が自然との共生の中で成り立っていることへの理解を深め，地域貢献人材育成に資するためのプログラムである。まず，「森林から耕地，海」に至る水や物質の流れ，自然環境とその変化，農林水産業や工業などについての基礎を学ぶ．そして，生物資源科学部附属生物資源科学教育研究センターの三瓶演習林，本庄総合農場，神西砂丘農場，隠岐臨海実験所や斐伊川流域でのフィールドワークにより，現状を体得しつつ課題を発見し，地域を流域レベルで考え，総合的に理解することを目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

① 地域を構成している森林，耕地，海における自然環境や産業を理解する上での基礎的知識を修得している。　(DP④)

② フィールドワークの対象地域における自然環境や産業について，必要な情報を収集しまとめることができる。　(DP②④)

③ 各フィールドにおいて自然環境や産業を観察し，特徴をとらえ，課題を発見できる。(DP⑤)

④ フィールド調査の外業や内業のグループ作業において，対話により分担を決め，自らの役割を持って，主体的に参画することができる。(DP③)

⑤ 現場での体得が座学による理解を深化することを体感し，今後の学びに活かすことができる。(DP①)

⑥ 調査結果や学習成果や課題についてグループで議論し，まとめて，わかりやすく発表することができる。(DP③)

(3)履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　上記履修表により履修し，コア科目（必修）2単位，選択科目（選択）8単位以上の合計10単位以上を修得

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　本プログラムのコア科目を2単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和6年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目		コア科目	基礎フィールド演習	2	2	
		選択科目	耕地栽培学	2		4
			基礎土壌学	2		
			森林植物学	2		
			森林水文学	2		
			水圏生態学	2		
			発生生物学	2		
全学基礎教育科目	ユニバーサル科目群	選択科目	自然と語ろう	2		4
			自然環境の復元	2		
	地域創生科目群		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
合　計					10	

※「基礎フィールド演習」は，選択科目（選択）2科目（4単位）を修得した者でなければ履修することができない。ただし，生物資源科学部の学生は除く。

別表1

10. キャリアデザインプログラムベーシックコース（10単位）

(1)プログラムの目的

キャリアデザインプログラムは，VUCA時代と表現される複雑で曖昧な社会の中にあっても主体的に自らのキャリアをデザインし，実現させていくことが出来る人材を育成することを目的とする。これまでの単線型のキャリア形成と異なり，人生100年時代となり，マルチステージモデルのキャリアデザインが必要になる現在においては，人生のターニングポイントも複数存在し，曖昧で先行きが予測しづらい中でも，その都度自らの生き方や在り方を選択していきながら，自他にとって幸せな人生を実現させていく力が求められる。

このような力を育成するために，クロス教育では，キャリアデザインプログラムベーシックコース（以下「CDPベーシック」という。）を開設する。CDPベーシックでは，コア科目として「CDPセミナー」と「クロス教育基礎論」を必修とした上で，自らのライフキャリアに向き合うための選択必修A群と，多様な学問領域の見方・考え方で現代社会を捉える視点を養うための選択必修B群から合計6単位を履修する。コア科目では，OB，OGをはじめ多様な専門家から話を聞く機会を作ることで，大学での学びと社会の繋がりを意識しつつキャリア形成が出来るようになることを目指す。

(2)プログラムの学修到達目標

① 自らの理想とする生き方や在り方を言語化することができる。

② 多様な学問分野の有する枠組みを使って現代社会を見ることができる。

③ 大学卒業後のキャリアを描いた上で，今何をすべきかを検討することができる。

④ 多様な社会課題と大学の学問を接続することができる。

⑤ 学生や社会人を問わず対話し，自分の考えを伝えることができる。

(3)履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4)履修手続

CDPベーシックを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 CDPベーシックの履修申請

二 その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二 履修表により履修し，必修科目を4単位，選択必修科目を6単位以上（A及びBを各2単位以上）の合計10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。

二 CDPベーシックの必修科目を4単位以上，選択必修科目を6単位以上（A及びBを各2単位以上）履修中であること。

(7)特記事項

キャリアデザインプログラムは，クロス教育において開設するCDPベーシックと特別教育として別途開設するキャリアデザインプログラムマスターコース（以下「CDPマスター」という。）により構成する。

CDPマスターについては，別に定める。

(8)構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分		授業科目名	単位数	必修	選択必修A	選択必修B
全学基礎教育科目	地域創生科目群	CDPセミナー	2	2		
	教養育成科目群	クロス教育基礎論	2	2		
	島大STEAM科目群	アントレプレナーシップ入門セミナー	2		2～4	
		プロジェクトデザイン	2			
		クリティカルシンキング	2			
		人と職業	2			
		実例ビジネス開発論 -社会構造の変化に対応する新しい価値の共創	2			
	地域創生科目群	島根学	2			
	教養育成科目群	ライフキャリアデザインA	2			
		ライフキャリアデザインB	2			
		大学生の就職とキャリアA	2			
		大学生の就職とキャリアB	2			
		ビジネススキル入門	2			
	島大STEAM科目群	イノベーション創成基礎セミナーI	2			2～4
		イノベーション創成基礎セミナーII	2			
	ユニバーサル科目群	グローバル・イシュー:国際社会が抱える課題と対応	2			
		グローバルチャレンジ:海外留学・インターン・ボランティアへの道筋	2			
		地域開発と水環境	2			
		アグリバイオビジネス概論	2			
		自然環境の復元	2			
		環境問題通論A	2			
		環境問題通論B	2			
	地域創生科目群	地域博物館へのいざない	2			
		観光地域経営論	2			
		地域未来論	2			
		ボランティアと障がい者支援	2			
		障がい者支援の実際	2			
	教養育成科目群	ジェンダー -性を科学する-	2			
		日本国憲法	2			
		企業と法	2			
		住まいの科学	2			
		食の守り方のあゆみ	2			
		食の守り方のあゆみB	2			
全学開放科目		金融論I	2			
		金融論II	2			
		経済地理学	2			
		人文地理学概説II	2			
		人間科学概論	2			
		人間と工学	2			
		技術と社会	2			
		地域創生論	2			
		材料系エンジニアのための経済事情論	2			
合　計				10		

※「イノベーション創成基礎セミナーⅠ」「イノベーション創成基礎セミナーⅡ」は，地域人材育成コース生のみ履修することができる。

別表1

11. 数理・データサイエンス実践プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

現代社会において，ビッグデータから価値を引き出す能力がますます重要となっている。このプログラムでは，数理・データサイエンスについての基礎的事項を学び，プロジェクトを通じて実践的な経験を積むことで，データの分析力，データエンジニアリング力，問題解決力の3つの要素を身に付け，専門分野で実践的なスキルを持つ人材の育成を目的としている。

(2)プログラムの学修到達目標

① データサイエンスの観点から具体的な活用事例を説明できる。
② データにはバイアスが含まれていることを理解し，印象や偏見には慎重に注意を払うことができる。
③ ExcelやPythonなどを用いてデータ分析が実行できる。
④ データから引き出した情報を正しく理解し，説明することができる。
⑤ 学んだデータサイエンスの手法を各専門分野の課題解決に活用できる。

(3)履修資格

令和6年度以降に入学した者

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一 本プログラムの履修申請
二 その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二 下記の履修表を参考に，必修科目6単位以上，選択科目4単位以上の計10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一 3年次以上の学生であること。
二 必修科目を6単位修得済み，または履修中であること。
三 選択科目を4単位以上修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

<table>
<tr><th colspan="2">科目区分</th><th>分類</th><th>授業科目名</th><th>単位数</th><th>必修</th><th>選択</th></tr>
<tr><td>全学基礎教育科目</td><td>島大STEAM科目群</td><td>数理・データサイエンスに関する基礎的科目</td><td>数理・データサイエンスへの誘い</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">全学開放科目</td><td>AI基礎</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>データサイエンス基礎</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">全学基礎教育科目</td><td rowspan="2">島大STEAM科目群</td><td rowspan="3">数理・データサイエンスに関する基礎的科目</td><td>Excelによるデータ分析入門</td><td>2</td><td></td><td rowspan="7">4</td></tr>
<tr><td>数理・データサイエンス活用</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教養育成科目群</td><td>統計検定セミナー初級</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">島大STEAM科目群</td><td rowspan="3">数理・データサイエンスに関する実践的・理論的科目</td><td>実験データ解析入門</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>Excelによるデータ分析応用</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td>データサイエンスPBL実践演習(仮)</td><td>2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">小計</td><td></td><td>6</td><td>4</td></tr>
<tr><td colspan="4">合計</td><td colspan="3">10</td></tr>
</table>

別表2

1．法文学部学問基礎プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

社会の急速なグローバル化・情報化・高度化が発展し，国際関係・政治・経済社会・文化の再編が進むと共に，近代的価値観や「知」が問い直されている。本プログラムは，人文科学，社会科学を網羅した文科系総合学部の学問基礎プログラムとして，現代社会や地域社会が抱えるさまざまな問題を解決することのできる基礎的専門知識を身につけ，創造的・実践的能力を有する人材を広く育成することも目的とする。

(2)プログラムの学修到達目標

①山陰地域の抱える過疎化と高齢化に伴うさまざまな問題への取り組みについて，具体的な事例を挙げて説明することができる。
②人間の営みとしての思想・文化・社会のあり方や課題について，人文・社会科学の諸分野の研究手法を用いて調査・分析することができる。
③高い倫理観と豊かな教養を身につけるとともに，基礎的専門知識を実践することができる。
④現代社会や地域が抱えるさまざまな問題の場に自らの役割を持って，主体的に参画することができる。
⑤急速なグローバル化・情報化・高度化に伴う，国際関係・政治・経済・社会・文化の再編について他者と議論し，合意を形成することができる。

(3)履修資格

法文学部の学生は本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請
二　その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件を全て満たすこと。
一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二　下記履修表により履修し，選択科目10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。
一　3年次以上の学生であること。
二　選択科目を10単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和6年度以降入学生用）

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	政治学	2		10
	地方自治法	2		
	財政学Ⅰ	2		
	経営学	2		
	文化人類学入門	2		
	経済地理学	2		
	考古学概論Ⅰ	2		
	現代史概説	2		
	哲学概論	2		
	日本語学概論	2		
	中国語学講義Ⅰ	2		
	英語学講義Ⅲ	2		
合　計			10	

別表2

2．人間科学部基礎プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

人間科学部は，人間を深く理解し，人々がその人らしく生きることができるようささえることができる地域実践力を持つ人材を育成することを目的としている。本プログラムでは，他学部の学生がこのような人間科学部における学問の基礎を修得し，人間の心理的側面，身体的側面，社会的側面についての専門的知識，人間を多角的にとらえる視点を獲得し，持続的な関心を持って，人間のかかえる様々な問題に主体的に関与するための方法や，人間がかかえる諸問題を的確に分析する方法などについて基本的な理解を得ることを目的とする。具体的には，全ての履修者が共通で身につけるべき資質能力を育成するため，コア科目として「人間科学概論（2単位）」を必修科目として開講する。また，コア科目に加えて，人間の心理的・身体的・社会的各側面についての基礎的な専門知識を身につけ，地域実践力の基盤となる地域社会の現状を理解し，様々なアプローチから人間の多様な営みを理解するための選択科目（合計8単位以上）の学修を課す。

（2）プログラムの学修到達目標

①人間の心理的側面，身体的側面，社会的側面についての専門的知識を身につけ，人間を多角的にとらえることができる。

②人間のかかえる様々な問題に主体的に関与する方法について，具体的な事例を挙げて説明することができる。

③人間がかかえる諸問題を的確に分析する方法について，具体的な事例を挙げて説明することができる。

（3）履修資格

人間科学部の学生は本プログラムを履修することはできない。

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件を全て満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　下記履修表により履修し，コア科目2単位以上，選択科目8単位以上，計10単位以上を修得すること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　コア科目を2単位修得済み，または履修中であること。

三　選択科目を8単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	人間科学概論	2	2	
	心理学概論	2		8
	臨床心理学概論	2		
	社会福祉原論Ⅰ	2		
	社会福祉原論Ⅱ	2		
	健康科学概論	2		
	地域福祉論Ⅰ	2		
	医学概論	2		
	遺伝医学	2		
合　計			10	

別表2

3. 総合理工学基礎プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

他学部の学生が，総合理工学部において専門的な内容を学ぶために必要となる基礎的な事項の学習に焦点を当て，数学，物理学，化学，地学，プログラミングなどの重要なトピックについて興味に従って網羅的に学び，また実例なども交えながら，これら基礎的な事項の重要性について学ぶ。このように基礎的な事項の理解を構築することで，総合理工学の専門的な内容を探求するための門戸を開く。

(2)プログラムの学修到達目標

①理工学と人類社会や地球環境との関わりについて具体的な事例を説明できる。

②実社会の基礎的な現象について，理工学の基礎理論を用いて調査・分析できる。

③学んだ理工学の基礎的な知識について説明できる。

④問題分析や解決が必要となる場に自らの役割を持って，主体的に参画できる。

⑤理工学の基礎的知識をもとに他者と議論し，共通の理解や合意を形成できる。

(3)履修資格

総合理工学部の学生は本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件を全て満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　下記履修表により履修し，選択科目10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　選択科目を10単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	基礎微分積分学IA	2		10
	基礎微分積分学IB	2		
	基礎微分積分学IC	2		
	基礎線形代数学IA	2		
	基礎線形代数学IB	2		
	基礎線形代数学IC	2		
	基礎物理学A	2		
	基礎化学	2		
	基礎地学	2		
	基礎プログラミング	2		
合　計			10	

※備考

1.「基礎微分積分学」はIA 、IB、IC のいずれか1科目のみ履修可能とする。

2.「基礎線形代数学」はIA 、IB、IC のいずれか1科目のみ履修可能とする。

履修表(令和7年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	データサイエンスのための微積分Ⅰ	2		10
	データサイエンスのための線形代数Ⅰ	2		
	基礎物理学	2		
	基礎化学	2		
	基礎地学	2		
	基礎プログラミング	2		
合　計			10	

別表2

4．材料エネルギー基礎プログラム（10単位）

（1）プログラムの目的

本プログラムでは，全世界で対応が急がれるエネルギー問題を素材・材料の視点から理解し，その知識を自分の専門分野でも生かせる人材を育成することを目的とする。本プログラムでは，全ての履修者が共通で身につけるべき資質能力を育成するため，コア科目として「材料エネルギー概論Ⅰ（2単位）」と「材料エネルギー概論Ⅱ（2単位）」を開講する。コア科目では，材料分野の知識の習得と共に，社会における実装事例エネルギー問題に関連する基礎知識を習得する。また，コア科目に加えて，多様な事例を学修し，視野を広げるため，選択科目の学修を課す。

（2）プログラムの学修到達目標

①素材・材料分野におけるエネルギー問題への取り組みについて，具体的な事例を挙げて説明することができる。

②新製品開発について素材・材料の視点から調査・分析することができる。

③素材・材料の選択の議論の場に自らの役割を持って，主体的に参画することができる。

④地域の特徴でもある材料分野における産業振興に向け，他者と議論し，合意を形成することができる。

⑤材料と社会の関りを理解し、課題の抽出、解決策を見出すことができる。

（3）履修資格

材料エネルギー学部の学生は本プログラムを履修することができない。

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件を全て満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　下記履修表により履修し，計10単位以上を修得すること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　本プログラム対象科目を10単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

<table>
<tr><th colspan="3">科目区分</th><th>授業科目名</th><th>単位数</th><th>選択</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="7">全学開放科目</td><td rowspan="2">コア科目</td><td>材料エネルギー概論Ⅰ</td><td>2</td><td rowspan="10">10</td></tr>
<tr><td>材料エネルギー概論Ⅱ</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">選択科目</td><td>材料系エンジニアのためのエネルギー概論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>地域創生論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>材料系エンジニアのための経済事情論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>カーボンニュートラル社会のための材料学</td><td>2</td></tr>
<tr><td>材料科学から社会を見る</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育基礎</td><td>全学教養科目群</td><td>クロス教育基礎論</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="5">合　計</td><td>10</td></tr>
</table>

別表2

5. 生物資源科学基礎プログラム（10単位）

(1)プログラムの目的

本プログラムでは，持続可能な社会を目指した生態環境保全，農林産業発展や安定的な食料供給への貢献を目指す人材を育成することを目的とする。持続可能な社会においては，生物資源を有効に利活用しつつ，生態環境を総合的に保全・管理するための知識を持つことが重要であり，生物資源科学分野を俯瞰的に学ぶことで，学修者の所属する学士課程の学びと対比させながらSDGsにかかる視野を広げることができる。本プログラムの講義は，学修者の大学における生物学の基礎知識を修得するための4科目（8単位），農林業の概要を学ぶ4科目（4単位），環境保全・管理の基礎となる2科目（4単位）からなる。これら生物・生命科学，農学，環境に関連する基礎的科目の履修を通じて，生命科学，農林・食料生産，農業経済，生態環境などを俯瞰するような幅広い知識を得るため5科目以上（合計10単位以上）の学修を課す。

(2)プログラムの学修到達目標

①生物，生命，農学，環境に関わる基礎的な知識を身につけている。

②人間・社会・自然に関する幅広い視野を身につけている。

③生物資源科学分野の学びと，自身が所属する学士課程の学びとの関連・対比を説明することができる。

④生態環境保全や安定食料供給に向けた自らの役割を考えることができる。

⑤持続可能な社会を実現するための課題解決のため，多角的な視点を備えて主体的に取り組むことができる。

(3)履修資格

生物資源科学部の学生は本プログラムを履修することができない。

(4)履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

(5)修了要件

次の要件を全て満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　下記履修表により履修し，選択科目10単位以上を修得すること。

(6)履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　選択科目を10単位修得済み，または履修中であること。

(7)構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表(令和6年度以降入学生用)

科目区分	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目	生物学	2		10
	細胞生物学	2		
	遺伝学	2		
	微生物学	2		
	基礎土壌学	2		
	水環境学	2		
	資源作物・畜産学概論	1		
	園芸生産学概論	1		
	食と農の経済概論	1		
	森林学概論	1		
合　計			10	

別表3

アドバンストプログラム（20単位）

（1）プログラムの目的

自らの将来を展望したり，大学での学修を自律的に設計しながら，テーマや方法を組み合わせて学びを発展させ，自己の成長の幅を拡げることを目的とする。アドバンストプログラムでは，「テーマ別プログラム」「他学部学問基礎プログラム」「同学部異領域専門プログラム」のうち2つのプログラムを履修（20単位）するか，または，いずれか1つのプログラム（10単位）の履修に加えて，10単位の学びを主体的に設計して履修する。

（2）プログラムの学修到達目標

①自己の将来を展望し，学びを自律的に設計することができる。
②複数のテーマや方法を組み合わせて研究や課題解決に取り組むことができる。

（3）履修資格

令和6年度以降に入学した者

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請
二　その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
二　下記「ア」「イ」のいずれかの条件を満たすこと。
　ア．「テーマ別プログラム」「他学部学問基礎プログラム」「同学部異領域専門プログラム」のうち2つのプログラムを修了すること。
　イ．「テーマ別プログラム」「他学部学問基礎プログラム」「同学部異領域専門プログラム」のうち1つのプログラムを修了することに加えて，自ら学びを設計した10単位分の授業科目を履修し，履修後に「アドバンストプログラムの学びシート」を提出して評価・修了認定を受けること。

（6）履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。
二　修了要件の「ア」「イ」に含まれる各クロス教育プログラムの履修証明書交付要件を満たすこと。

（7）構成する授業科目及び履修方法

一　修了要件「ア」「イ」に含まれる各クロス教育プログラムの履修表により履修すること。
二　「イ」の場合，全学基礎教育と専門教育の必修科目を除き，10単位分の授業科目を自律的に選択し履修すること。

別表4

トランスボーダープログラム（30単位）

（1）プログラムの目的

「アドバンストプログラム（20単位）」に加えて，地域課題探究力，コーディネーション力，グローバル展開力などトランスボーダーな探究力を身に付けるプロジェクト型の教育プログラム（トランスボーダー専用プログラム10単位）を履修する。学生の自主企画プロジェクトをベースとして，学びを深化させるプログラムとなるよう，プロジェクトの企画から試行，実践までをプロセスとして学修していく。

（2）プログラムの学修到達目標

①自己の将来を展望し，学びを自律的に設計することができる。

②複数のテーマや方法を組み合わせて研究や課題解決に取り組むことができる。

③地域課題を探求し，解決するために必要な企画力や調整力を持つことができる。

④地域の多様な主体と連携・協働して，課題に挑戦することができる。

（3）履修資格

令和6年度以降に入学した者

（4）履修手続

本プログラムを履修する者（以下，「履修者」という。）は，次の各号の申請・提出により，履修手続きをしなければならない。

一　本プログラムの履修申請

二　その他本学が必要と認める書類

（5）修了要件

次の要件を全て満たすこと。

一　所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。

二　「アドバンストプログラム」の修了要件を満たすこと。

三　下記「トランスボーダー専用プログラム」の履修表により履修し，コア科目8単位，選択科目2単位以上，計10単位以上を修得すること

（6）履修証明書交付要件

次の要件を全て満たすこと。

一　3年次以上の学生であること。

二　「アドバンストプログラム」の履修証明書交付要件を満たすこと。

三　「トランスボーダー専用プログラム」のコア科目8単位，選択科目2単位を修得済み，または履修中であること。

（7）「トランスボーダー専用プログラム」を構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和6年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学基礎教育科目	地域創生科目群	コア科目	フィールドリサーチ	2	2	
			課題設定演習	2	2	
			課題解決実践	2	2	
			プロジェクトクラスI	1	1	
			プロジェクトクラスII	1	1	
	島大STEAM科目群	選択科目	プロジェクトデザイン	2		2
			クリティカルシンキング	2		
	教養育成科目群		クロス教育基礎論	2		
合　　計					10	